

# 京都の福祉

発行 京都府社会福祉協議会



本紙は、共同募金の  
配分金によってつくられています。

2009

7

No.491



## 主な記事

- 1面…もえくさ
- 2・3面…シリーズ②「いのち」について考える
- 4・5面…福祉施設のお店紹介
- 6面…平成20年度京都府社協決算
- 7面…助成金メール情報スタート
- 8面…夢中！熱中！！ふくしびと

施設利用者と地域住民のいこいの場「居酒屋 まっちゃん」

## もえくさ

▼最近切り抜いた二つの新聞記事。一つは、「社会保障費の抑制（毎年度2千2百億円）を2010年度予算編成の指針となる骨太2009では見直す方針」とある日経新聞（5/21）の記事。もう一つは参院予算委員会「ばらまき補正予算」とする批判に、担当大臣が「ばらまきというのはミレールの絵に出てくるような種のまき方。今回は点まきだ」と反論したとある朝日新聞（5/21）の記事である。▼《二つめの新聞記事に関連して》

福祉・医療の分野では、この間、制度的に混乱の域にあった事案が多すぎた。例えば障害者自立支援法関連では、応益負担や日割り算定、障害程度区分などが指摘されたし、後期高齢者医療では、ネーミングや区分の制度をもそも論、定率負担、徴収方法が指摘された。何が問題だったか。財政論が先行したのが問題・・・と思う。制度を歪めてしまったのは、福祉・医療費の縮減を念頭に置いての制度設計であった。▼《二つめの記事に関連して》、フランス画家ミレールの「種をまく人」のようなまき方が「点まき」かは年月の推移が検証するとして、確かに、相当の予算は付いており、それも国庫10分の10が目立つ。介護・福祉人材確保についても、焦眉の介護職の処遇に関連し、再度の報酬アップが措置される。私たちは、この間、「介護人材は2014年には50〜60万人増の150〜160万人が必要、身体介護に加え心のケアも行う専門性が大事」、したがって①離職防止と人材確保 ②職員の対人援助力の向上 ③施設の経営基盤の強化が重要などと議論してきた。「種のまき方」が、現下の雇用の受皿としてだけでなく、こうした課題にもしっかり向き合っているか。思うに、畝（まき床）に「筋」は見えにくい。▼二つの記事から考える。今ここで、福祉のありようを、「住み慣れた地域で」「その人らしく」を基本に、担い手の多様性も踏まえ、もちろん負担についてもしっかりと議論すべきではないか。この小稿が紙面になるころは新型インフルエンザはもはや終息（期待！）し、同時に、国政選挙も日程にのぼっている。福祉にとって施策の動向は極めて大事である。関係者に施策のありようについて選択肢の提示をお願いし、国民的な議論の機会となるよう望みたい。

# 急増する介護疲れ・介護倒れ

## 在宅介護の高齢者の3割が「死にたい」

前号は「いのちの電話」の取材による自殺問題を取り上げました。

『「いのち」について考える』シリーズの2回目となる今回は、7月号から9月号まで3回に渡り、家族が介護することに依然として大きな負担があること、社会的にも問題が起きていることにスポットをあて、社会的に何が必要なか、どんな支えがあればいいのか、ということを考えていきます。第1回の今号は、急増する介護疲れによる自殺、無理心中などの問題を取り上げ、介護の今とこれからを探ります。

### ■介護疲れの悲劇

最近、介護にまつわる悲劇の報道があいついでいます。京都でも18年2月1日未明に京都市桂川河川敷で男性が認知症の母親の首を絞めて殺し、自分も首を切って自殺を図りました。

介護の疲れで、自殺、心中、殺人などの悲劇が多く起きています。2006年に厚生労働省の研究班が実施した全国8,500人の介護者アンケートによると、高齢者の在宅看護を担う65歳以上の介護者の約3割が「死んでしまいたい」と感じたことがあると答えています。

アンケートには、介護者のうつ状態の自己診断表もあり、その結果4人に1人がうつ状態と疑われるとされています。

### ■介護ストレスが引き金となった虐待も

「介護殺人」「介護自殺」などという悲惨な事件の水面下には、「介護ストレス」が引き金となった虐待事例が広く深く潜んでいる可能性があるといわれています。

「高齢者への虐待」は発覚しづらく、発生するケースに複雑な家庭事情などが絡むことが多いため、発見が遅れることがあります。そこには、虐待をする家族も、虐待を受ける高齢者も、ともに「虐待をしている・されている」という自覚に乏しいという事情や、家の中に閉じこもることが多いために近隣の人々が気づく機会が少ないといった状況もあります。（虐待の主な種類は表参照）

### ■制度の狭間と孤立

冒頭で紹介した京都桂川の介護殺人事件

を探ってみれば、介護サービスや生活保護等がセーフティネットとしてうまく機能せず、地域ともつながりを持たず親子が孤立していた状況が見えてきます。裁判の判決で裁判長は「この事件で問われているのは、日本の介護制度と生活保護行政と言っても過言ではない」と付け加えました。

そもそも「介護保険制度」導入の意義の一つは「介護の社会化」で、これまで家族などに依存してきた介護を社会的にカバーすることにありました。

介護というニーズは、所得に関係なく誰にでも発生します。そこで、全国民を対象に介護サービスを保障し、気兼ねなく制度を利用する仕組みとして生まれたのが介護保険制度でした。

しかし現状では、所得によって利用を

きらめる、情報がなく制度に結びつかないなどといった制度の狭間にある人たちの存在が見えてきました。

介護疲れによる心中や虐待に至るケースは、介護保険サービスを利用せず、近所や友人等とのつながりを持たない中で、介護を一人で抱え込んでいる場合が多くあります。そういった「孤立」の状態が、介護の辛さや疲れを増やし精神的に追い込む大きな要因ではないでしょうか。

### ■同じ介護者の立場から生きよつメッセージ

このような中、ぎりぎりの状態にある人に対し同じ介護者の立場から発せられたメッセージがあります。認知症の本人と介護者の当事者団体である、社団法人「認知症の人と家族の会」（本部・京都市中京区、以下家族の会）が、今年4月に発行したりフレット「死なないで！殺さないで！生きよつメッセージ」同じ介護者から今、いちばんつらいあなたへ〜」です。

## 虐待の主な種類

心理的虐待	身体的虐待	介護・世話の放置・放任	性的虐待	経済的虐待
脅しや侮辱などの言葉や態度、無視、嫌がらせ等によって精神的に苦痛を与えること。	暴力的行為によって身体に傷やアザ、痛みを与える行為や外部との接触を意図的、継続的に遮断する行為。	必要なサービスの利用を妨げる、世話をしない等により、生活環境や身体的・精神的状態を悪化させること。	本人が同意していない、性的な行為やその強要	本人の合意なしに財産や金銭を使用し、本人が希望する金銭の使用を理由なく制限すること。

代表理事の高見国生さんにお話を伺いました。高見さんは、「追い詰められた人は、孤立しているケースが多いが、真面目に一生懸命、相手を思って介護をしている人がほとんど。どんな人だって、追い詰められたら殺そうか、死のうかと思うことがあります。リーフレットは、これまでに「死んでしまいたい!」「殺してしまいたい!」という同じ思いをした会員が、どうして思いとどまったのかを伝えることで、今、介護で苦しんでいる人たちが踏みとどまるきっかけになればという思いで作成しました。」と語ります。

代表理事の高見国生さんにお話を伺いました。高見さんは、「追い詰められた人は、孤立しているケースが多いが、真面目に一生懸命、相手を思って介護をしている人がほとんど。どんな人だって、追い詰められたら殺そうか、死のうかと思うことがあります。リーフレットは、これまでに「死んでしまいたい!」「殺してしまいたい!」という同じ思いをした会員が、どうして思いとどまったのかを伝えることで、今、介護で苦しんでいる人たちが踏みとどまるきっかけになればという思いで作成しました。」と語ります。

多くの介護者の方に一人でも多く手にとって欲しいとの思いから、地域包括支援センター等の福祉関係の窓口はもちろん、スーパーやコンビニ、金融機関、薬局など、暮らしの中で立ち寄る身近な場にも設置していく考えです。

「死んだら終わり。命あってこそ。」家族の会の高見さんの言葉です。自殺や殺人を思いとどまった方のきっかけは、認知症の人の笑顔であったり昔の旅行の記憶であったり、ほんの些細なさりげないことが多くて生きている存在だと教えてくれます。

### ■その人らしい介護を支えるために

家族を介護すること、そこには辛く大変な側面だけではなく優しいさや喜びがあるのではないでしょう。在宅での介護は、大切な家族に支えが必要となる状況が起った時、住み慣れた家で看たい、親孝行をしたい、

死なないで!  
殺さないで!

生きようメッセージ

同じ介護者から  
今、いちばんつらいあなたへ

社団法人 認知症の人と家族の会  
Alzheimer's Association Japan



代表理事 高見 国生さん

「家族の会」認知症の  
電話相談110番

0120-294-456

(月～金 10時～15時 祝日休み)

社団法人認知症の人と家族の会

〒602-8143

京都市上京区堀川通り丸太町下る

京都社会福祉会館2F

TEL 075-811-8195

FAX 075-811-8188

<http://www.alzheimer.or.jp>



## 福祉施設のお店紹介

### 松寿苑居酒屋「まっちゃん」



# 施設利用者と地域住民の「い」の場

社会福祉法人松寿苑は、京都府北部綾部市にあり、特別養護老人ホームをはじめとする入所施設のほか、デイサービスセンターなどの通所施設、ヘルパー派遣などの在宅介護を幅広く展開しています。今回は、社会福祉法人松寿苑の施設の一角で運営されている施設利用者と地域住民との交流の場である居酒屋「まっちゃん」を取材させていただきました。

30名ほどが楽しめる交流の場となっています。店員は、施設の職員が仕事として取り組んでいます。取材当日は、開店と同時に施設の利用者さんがお客さんとして次々と訪れ、地域住民6名を含んで開店20分ほどで満員になりました。

#### ◆肩肘張らない 自然な交流が魅力

「髪を染めたの〜」とお客さんが入ってきました。松寿苑の利用者さんです。顔見知りのお客さん一人一人に挨拶をしてまわっている、「後ろから見たら誰かわからなかったわー」とある男性から声がかかりました。

「いらっしやいませ〜」威勢のいい声と笑顔が迎えてくれます。居酒屋「まっちゃん」は毎週金曜日18時にオープンします。鶏のからあげやフライドポテト、揚げだし豆腐など居酒屋の定番メニューのほか、季節の料理やその日の限定メニューが低価格で提供され、お酒も生ビールや日本酒など豊富に用意されています。施設の利用者を中心に、近隣の地域の方々も利用できる居酒屋として、

「施設の地蔵盆に行ったときに、この話を聞いたんです。気軽に来てくださいと言われたので、





それからよく来るんですよ。」と話してくださいました。施設の利用者さんはそれぞれ座る席が決まっているとのこと、「今日はその席にいつも座っている方がいらっしやらないんです。姿が見えないとどうされたのかと気になります。」と心配顔。「利用者の方とは、外で出会っても挨拶をしたりしていますよ。」と日常的につながっておられる様子を話してくださいました。

真ん中にある大きなテーブルから歌声が聞こえてきました。このグループは、ケアハウスの利用者の方々です。「いつもは、みんなそれぞれの部屋で生活していますが、金曜日の夜は、自然と「まっちゃん」に集まります。」「こんな風に通わせてもらって楽しいです。」と口々にお店の魅力を話してくださいました。その後、話はどん

どん盛り上がり、最後はみんなで歌の大合唱。地域の方々も加わり手拍子が店内をひっきりしていきます。

#### ◆交流は長い月日をかけて

「まっちゃん」ができたのは、今から約5年前。施設利用者の生活がハリのあるものになるように、また地域との交流が進むようにとの思いで職員さんが企画されたのがはじまりです。しかし、スタート当時は、施設利用者と地域の方々が同じ店にいてもなかなか交流が進まなかったようです。地道に続ける中で、徐々に顔見知りになって交流がはじまり、ここ2年くらいは自然に声をかけあったり、一緒に歌をうたったりする姿が見られるようになったとのことです。「やめずに続けてきたからこそ、今があるんだと思います。」と職員さんがこれまでを振り返りながら話してくださいました。

高齢者福祉施設では、利用者を対象に喫茶や居酒屋をされている例は見られますが、松寿苑のように地域住民も自由に来ることができ、また週に1回という頻度でお店をされているのは珍しい例です。

施設利用者にとっても、地域住民にとっても、一週間の疲れを癒すことができ、また次の一週間の活力が得られる、そんな場としてこれからも居酒屋「まっちゃん」が続いていくことを期待します。

## 京都府社会福祉協議会 平成20年度 決算の概要(一般会計)

経常収入	決算額	構成比
補助・委託金収入	288,080,831	66.0%
会費収入	14,233,800	3.3%
寄付金収入	2,821,706	0.6%
共同募金配分金	12,350,000	2.8%
事業収入	95,435,072	21.9%
預金利子	14,581,473	3.3%
その他	8,723,209	2.0%
総計	436,226,091	

経常支出	決算額	構成比
人件費	209,566,837	49.1%
事務的経費 (印刷費・通信費など)	8,600,531	2.0%
地域福祉・ ボランティア振興関係事業費	31,693,800	7.4%
共同募金配分金事業費	13,154,938	3.1%
介護・福祉サービス等 利用者支援関係事業費	66,769,537	15.6%
福祉人材養成関係事業費	42,627,400	10.0%
その他の事業費	53,094,816	12.4%
全社協負担金	1,362,000	0.3%
総計	426,869,859	

※民間社会福祉施設整備資金にかかる収支等を除く実質的な収支

### ご寄付ありがとうございました

下記団体様よりご寄付を頂きました。  
京都の福祉発展のために有効に使わせて頂きます。  
ありがとうございました。

- ・ 近畿労働金庫京都府本部 様
- ・ 匿名(1団体)

## 平成21年度介護支援専門員(ケアマネジャー) 実務研修受講試験のための受験対策講座受講者募集中!

### 《日程》 【6日間】

7月25日(土)  
8月8日(土)  
8月9日(日)  
8月22日(土)  
8月23日(日)  
8月29日(土)

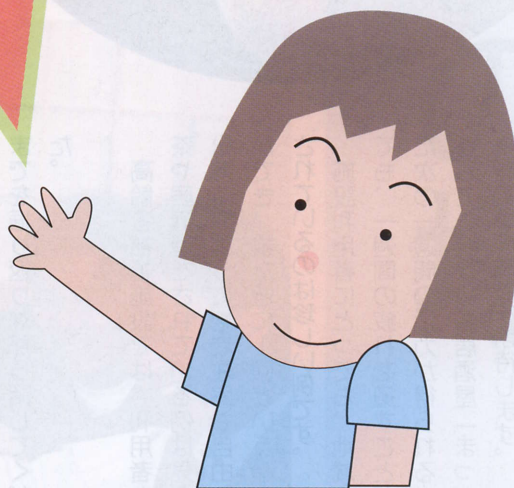
《定員》 (200名)になるまで申し込みを受け付けます。  
まずご連絡ください!

●詳しくは、本会ホームページ

URL :<http://www.kyoshakyo.or.jp>

(トップページのInformation「講座・研修・イベント情報」)をご覧ください。

もしくは本会 ケアマネ受験対策講座係 (075) 252-6291 までお問い合わせください。



## メールマガジン 「助成金メール情報」

平成21年6月1日配信スタート

民間助成団体が募集する助成金は、毎年20団体を超過しており、各種イベントを開催するための事業費や、新しい活動や事業をはじめための機材整備費、調査研究にかかる費用など、各団体ごとに特色のある助成を行っています。京都府社会福祉協議会では、このたび、民間助成団体が募集する助成金の情報を迅速に、かつ情報が必要な方にダイレクトにお届けするメールマガジン「助成金メール情報」を開始することとしました。

### ■メールアドレスを登録すると…

- ①民間助成団体が行う助成金の情報をメールでお届け！
- ②メール本文のリンクをクリックすると助成金の詳細がわかる！

登録を希望される場合は、下記アドレスあてに件名を「助成金メール情報登録希望」として、団体名と登録したいアドレスをお知らせください。

登録申込み先アドレス  
partner@kyoshakyo.or.jp

## ストップ！温暖化 「クール・ビズ」

環境省が提唱する夏の温暖化防止キャンペーン「クール・ビズ」と連携し、京都府社会福祉協議会においても「適温冷房にふさわしい軽装勤務」をすすめております。

職場においてはノー上着、半袖、ノーネクタイ等の軽装を励行しております。本会主催の会議・イベント等においても、軽装での出席を励行しておりますのでご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

STOP!



## 社会福祉施設 しせつの損害補償 総合損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。  
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために！

### プラン1

#### 施設の業務中事故賠償補償

- ①基本補償
  - 基本補償(A)は、法人業務を包括的に補償
  - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金も補償
  - オプション・医療事故補償も充実
- ②個人情報漏えい対応補償
  - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含む)に補償
  - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

### プラン2

#### 施設利用者の傷害事故補償

- ①入所型施設利用者
- ②通所型施設利用者
- ③不特定多数利用者

### プラン3

#### 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

- 施設送迎車に搭乗中の傷害補償
- 施設の過失の有無は不問

### プラン4

#### 施設職員の災害事故補償

- ①施設の労災上乗せ補償
- ②施設職員の傷害事故補償
- ③施設職員の感染症罹患事故補償

### プラン5

#### 施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記にお願いします

団体契約者  
社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**

取扱代理店  
株式会社 **福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

～だから続けたい この仕事～

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝える新コーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを「生」の声でお届けします。



## 福祉の仕事を始めたいきっかけ

修光学園 生活支援スタッフ 能政 夕記さん

学生時代は福祉学科を専攻し、勉学に励んでいましたが、実際に「福祉の現場で働く」という事に関しては迷いが多く、自分に福祉の仕事ができるのか?他の友達のように熱意を持って取り組めるのか?と常に不安でした。大学4回生の春、どの職種を選択するか決めかねていた頃、ある奇妙な出来事が数回、私の身に起こりました。それは外出する先々で体調不良で倒れる人を目にした事でした。目の前にいた人が倒れ込む姿を見た時、突然の出来事に上手く対応する事が出来ずに自分の無力さを何度も感じました。最近、こういった出来事によく遭遇

するなと思った時、ふと思いついたのです。

「誰かのために何が出来る。」そんな大人になりたいと思いつつ、頑張ろうと思っていた頃の事を。そして、自分は「人」が好きであり、人と関わる仕事が出来たいと思っていた事を。自分らしさとは何か気付かされる瞬間でした。

その事に気付いてからは、福祉の現場で働く事を決め、



能政 夕記さん

- 施設名 社会福祉法人 修光学園
- 職種 生活支援スタッフ
- 経験年数 6年2ヶ月
- 夢中になっていること バレーボール、スノーボード、ダイビング
- 好きな言葉 成せば成る

る人でありたいと思っています。言葉で言うのは簡単ですが、これにはとても難しいことでもあります。この事をいつも目標に、これからも福祉の現場で働く職員として頑張りたいと思います。

福祉の分野でも特に興味を持っていた知的障害の方と関われる仕事を希望して、現在に至っています。

知的障害者授産施設の職員として働き始め今年で7年目を迎えました。知的障害のある方はそれぞれの方法で自分を表現されるため、時に周りに理解されずに誤解を招くこともあります。しかし、自分らしく生きようとする皆さんの姿勢は素晴らしく、学ばされることも多いです。自分の中で支援のあり方や仕事内容等で悩んだり、葛藤したりと不安は常にありますが、それ以上に得るものは大きく、自分がある時、福祉の現場で働く決意をした事を後悔したことは一度もありません。自分のしたい仕事に分かれないと悩む人が多い中、私は自分のやりたい事を見つけて、それを仕事にすることができ、本当に幸せ者だなと感じています。

福祉職員として、自分がどこまで進んでいけるのか先の事は分かりませんが、自分が常に心に持っていることは「この人と出会えて良かった。」と想っていただけ職員でいる事です。常に人に強い影響力や印象を与える職員という意味ではなく、この人と仕事が出来て楽しいと喜んでいただけ

京都の福祉 毎月1日発行 昭和36年7月26日 第3種郵便物認可

発行所 京都府社会福祉協議会  
発行人 森 育 寿

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375  
TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310  
URL <http://www.kyoshakyo.or.jp>

「京都の福祉」へのご意見、ご感想、  
とりあげてほしいテーマなどをお寄せ下さい。  
表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)

本会へのご意見等は、左記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

